

イベントスケジュール (もみじ植樹)

11月22日(土) 多良峡において
もみじ植樹イベントが開催され
ます

多良峡もみじ

第5号

2008年11月15日

発行所
多良峡もみじ少年団事務局
編集 大嶽 喜久



上石津町内にある4つの少年団メンバー

11月9日上石津町上多良地区にある緑の村公園において緑の少年団体験活動が開催されました。5月の緑の祭りの開催をきっかけに結成された上石津地域にある緑の少年団「牧田」「一之瀬」「多良峡もみじ」「時」の4少年団。結成された4少年団が一同に集まる機会も少なく緑の祭り以来初めての合同活動でした。4少年団全体で21名、多良峡もみじ少年団



からは、5年生2名3年生3名の計5名で参加しました。「みどりの少年団の森づくり」として公園内シルクの里の入口付近にイロハモミジの苗を40本植樹しました。イロハモミジは、高雄モミジとも呼ばれ力エ

みどりの少年団の森づくり

特集

みどりの少年団体験活動

大垣市上石津町にある緑の村公園においてみどりの少年団体験活動が開催されました

デの中でもっとも紅葉が美しいモミジです。多良峡もみじ少年団のトレ

ードマークである真っ赤な団旗にもこのモミジが表されています。今回

植えた少年団の子どものちがが大きくなった頃には、このみどりの少年団の森のモミジも大きく育つて緑の村公園の紅葉の名所になるでしょう。



今回の植樹活動を通して他の少年団の仲間と仲良くなれて皆楽しそうでした。早くもみじが大きくなってね。



縦穴式住居作り

芝生広場ステージ横に稲を使った縦穴式住居を作りました。わらぶきふきの先生と岐

木と藤ツルとわらを使って作りました

縦穴式住居作り体験!

阜大学の生徒さんによる指導でまず丸太を藤のツルで絡め骨組みを作りました。藤のツルで木をしばったり、のこぎりで丸太を切ったり、ナタで木の先を削ったり初めて道具を使う子も多くて危なっかしい場面もありましたが、先生の指導もあり皆

楽しんで組み上げました。骨組みができたあとは、稲のわらで屋根や壁をふきました。骨組みの上に乗ってわらをふく女の子の団員、頼もしい姿ですね。出来あがった縦穴式住居は、小さな秘密基地、中に入った子供たちの笑い声がいまでも聞こえています。子供たちにとって貴重な体験になりました。危険だからとのこぎりやナタを使わせないので



なく、実際使わせてみて、どうすると危ないのか、けがをしないためにはどう使うのかという使い方を教えるのが大事ですね。勉強になります。今度公園にいかれたら是非見ていって下さい。

まが玉作りに挑戦!

体験活動の一つとしてまが玉作りに挑戦しました。材料となる白い石をポリネットサンダーで削り段々と形を整えていきます。次にサンドペーパーで角を整え、更に細かいペーパーで表面の傷をとり最後に水を付けて表面



体験イベントまがたま作り

松の防虫対策



江戸時代から残る松の大木のコモかけをしました!

宮地区にある旗本高木家屋敷跡に残る松の古木、宝暦治水が行われた木曾三川千本松原に残る松と同じ薩摩の日向松と言われています。大切な松を守るためコモかけをしました。

多良峡のもみじ植栽予定地

11月22日にもみじの植栽が予定されている多良峡のイベント会場を見に行ってきました。以前見に行った時には、手入れされていない針葉樹の人工林がうっそうと茂り、本当にこんな所にモミジを植栽するのかな?と不安に思っていました。が、しっかりと間伐され日も差し込み別の場所に来たのかと間違っ



編集後記

せっかく結成されたみどりの少年団、体験活動、森林環境体験を通して少しでも自然と付き合う楽しさや、きっかけ作りになればと活動しています。今回緑の村公園で体験活動を開催していただき本当に有意義な一日を過ごせたと感じます。今後もこのような機会が増えるといいですね。